

第3章 重点的取組み

第1節 地球環境を保全する(低炭素社会)

(1)再生可能エネルギーの利用の促進

市民環境フォーラム

具体的取組み番号 119

【取組み内容等】

市民の環境活動への取組みの推進と各団体や個人等の交流促進や環境情報を提供するため市民環境フォーラムを開催しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となりましたが、代替事業として、環境映画上映会や地球温暖化防止啓発パネル展の開催、かすがい環境賞及び環境絵画コンクール春日井市長賞表彰式を行いました。

また、2020年12月に開催した地球温暖化防止啓発パネル展では、愛知県立春日井工業高等学校(現 春日井工科高等学校)の生徒が作製したEVカーを展示しました。

次代を担う生徒が電気自動車を作製し、校外活動を通して、将来の地球環境やエネルギー問題を考えるきっかけづくりとなるよう啓発を行いました。



QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

市民環境フォーラム代替事業(2020年度)

事業名	開催日	場所	参加者	内容
環境映画上映会 「チェイシング・コーラル～消えゆくサンゴ礁～」	10月10日 (土)	文化フォーラム 春日井 視聴覚ホール	60人	環境保全と経済、社会との共生の在り方について考えるきっかけとするため、気候変動によるサンゴの白化現象を追い続けたドキュメンタリー映画を上映した。
地球温暖化防止 啓発パネル展	12月11日 (金) ～12月17日 (木)	市役所1階 市民ホール	—	12月の「地球温暖化防止月間」に合わせて、学校や市民団体・事業者・行政の地球温暖化防止についての取組みや、環境について幅広い内容を紹介した。
かすがい環境賞 及び環境絵画コ ンクール春日井 市長賞表彰式	12月13日 (日)	市役所1階 市民ホール	40人	○かすがい環境賞 個人：河合 成年、寺澤 朝子 団体：春日井おもちゃクリニック 上条スポーツ少年団育成会 ○環境絵画コンクール春日井市長賞 岡田 いぶき タイトル：「生き物たちのおしゃべり会♪」



地球温暖化防止啓発
パネル展の展示



春日井工業高等学校の生徒作製の
EVカー展示(地球温暖化防止啓発パネル展)



環境絵画コンクール
春日井市長賞作品

【取組み内容等】

家庭でできる地球温暖化対策や環境に優しいライフスタイルへの転換、エネルギーの大切さについて学び、考えるきっかけづくりとして、毎年、エコライフセミナーを実施しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となりました。

過去の開催では、地球温暖化に関するミニ講座や、液体窒素を使った冷熱実験、果実（ブラックベリー）の色素を使った太陽電池の作製などを通して、楽しみながら、省エネの必要性などを学び実践を促しました。



地球温暖化に関するミニ講座



液体窒素を使った冷熱実験



果実の色素を使った太陽電池の作製

住宅用太陽光発電システム等の設置補助

【取組み内容等】

エネルギーを効率的に利用して節約する省エネ機器やエネルギーを創り出す創エネ機器、エネルギーを蓄えて、必要なときに利用できる蓄エネ機器等の設置に対し、補助を実施しました。

なお、1998年度（平成10年度）からの累計で、4,842件、22,390kWの太陽光発電システムに対し助成しました。それにより、年間約9,650t^{*1}の二酸化炭素排出量の削減が見込まれます。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

住宅用地球温暖化対策機器設置費補助件数

内容	2018年度	2019年度	2020年度
一体的導入 ^{*2}	—	72件	60件
太陽光発電システム(単体) ^{*3}	316件	—	—
燃料電池システム	116件	91件	82件
家庭用エネルギー管理システム	109件	45件	46件
定置用リチウムイオン蓄電システム	112件	111件	138件
窓断熱改修 ^{*4}	—	18件	15件

※1: 最大出力値×1,000×中部電力ミライズ(2020年度)の二酸化炭素排出係数 0.431 (kg-CO₂/年)

※2: 2019年度より太陽光発電システム、家庭用エネルギー管理システム、定置用リチウムイオン蓄電システムの一体的導入補助を開始

※3: 太陽光発電システムの単体補助は2018年度まで

※4: 窓断熱改修の補助は2019年度から開始

【取組み内容等】

公共施設の屋根等を利用し、自然エネルギーを活用した太陽光発電システムの導入を進めるとともに、災害時の非常用の電源確保を図るなど公共施設の防災機能の向上にも努めています。

なお、本庁舎の太陽光発電システムによる2021年1月から2021年12月までの発電量の実績は25,074.3kWh(交流電力)であり、約11tのCO₂を削減しました。

太陽光発電システム設置施設

No	施設名	設置年月	最大出力値	年間CO ₂ 削減量 ^{※1}
1	介護サービスセンター	2000年2月	10.0 kW	4.3t-CO ₂
2	丸田小学校	2002年2月	30.0 kW	12.9t-CO ₂
3	勝川駅南口立体駐車場	2002年11月	6.5 kW	2.8t-CO ₂
4	出川小学校	2007年2月	30.0 kW	12.9t-CO ₂
5	小野保育園	2011年3月	5.0 kW	2.2t-CO ₂
6	少年自然の家	2012年3月	40.0 kW	17.2t-CO ₂
7	エコメッセ春日井	2012年3月	10.0 kW	4.3t-CO ₂
8	神領保育園	2013年3月	5.0 kW	2.2t-CO ₂
9	落合公園体育館	2013年4月	10.0 kW	4.3t-CO ₂
10	知多公民館 ^{※2}	2014年3月	49.5 kW	21.3t-CO ₂
11	総合保健医療センター ^{※2}	2014年4月	47.5 kW	20.5t-CO ₂
12	東部調理場	2014年9月	30.0 kW	12.9t-CO ₂
13	東部市民センター ^{※2}	2015年12月	60.2 kW	25.9t-CO ₂
14	総合福祉センター ^{※2}	2016年1月	38.7 kW	16.7t-CO ₂
15	坂下公民館	2016年1月	20.0 kW	8.6t-CO ₂
16	衛生プラント処理棟 ^{※2}	2016年3月	125.1 kW	53.9t-CO ₂
17	味美ふれあいセンター ^{※2}	2016年3月	49.5 kW	21.3t-CO ₂
18	西部ふれあいセンター ^{※2}	2016年3月	47.3 kW	20.4t-CO ₂
19	総合体育館 ^{※2}	2016年3月	51.6 kW	22.3t-CO ₂
20	新藤山台小学校 ^{※2}	2016年3月	30.0 kW	12.9t-CO ₂
21	JR春日井駅	2016年7月	46.0 kW	19.8t-CO ₂
22	第一保育園 ^{※2}	2016年9月	56.7 kW	24.4t-CO ₂
23	本庁舎	2016年12月	20.7 kW	8.9t-CO ₂
24	清掃事業所 ^{※2}	2016年12月	315.9 kW	136.2t-CO ₂
25	市営下原住宅 ^{※2}	2018年11月	49.2 kW	21.2t-CO ₂
合計 ^{※3}			1,184.4kW	510.4t-CO ₂

※1:最大出力値×1,000×中部電力ミライズ(2020年度)の二酸化炭素排出係数 0.431 (kg-CO₂/年)

※2:屋根貸しにより設置

※3:四捨五入の関係で計が一致しない場合があります。



東部市民センター



本庁舎

(2)省エネルギー行動の促進

COOL CHOICE 啓発

具体的取組み番号 112

【取組み内容等】

国が進める国民運動「地球にやさしい賢い選択」COOL CHOICEの趣旨に賛同し、2017年5月1日に市民・事業者・市民活動団体と連携して取組みを推進することを宣言しました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、多くのイベントが中止となりましたが、このような状況下でも、気象予報士出前講座やエコドライブ講習会など、感染防止対策を講じつつCOOL CHOICEについての啓発を行いました。

COOL CHOICE 啓発(2020年度)

イベント名	開催日	場所	内容
市職員出前講座 (P26 参照)	8月7日(金)～ 12月18日(金) 計10回	大手小学校他	環境省の「地球温暖化防止コミュニケーター」養成講座を修了した市職員が講師となり、動画や模型を用い地球温暖化についての講座を実施した。身近な環境にやさしいマークを用いたゲームやクイズを通じて楽しみながら地球温暖化について学んだ。
広報春日井	12月1日号	-	地球温暖化防止月間にあわせ、広報に啓発記事を掲載。
気象予報士出前講座 (P26 参照)	12月3日(木) 1月15日(金) 計2回	高森台小学校 春日井小学校	NPO法人気象キャスターネットワークと連携し、気象予報士が講師となり、地球温暖化についての講座を実施した。温暖化の仕組みや影響を学び、日常生活でどのようなエネルギーをいつ使っているかを想像し、自分たちができる省エネ行動を学んだ。
エコドライブ講習会 (P36 参照)	12月17日(木)	グルッポ ふじとう	マジオドライバースクール春日井校の教習インストラクターが講師となり、エコドライブの習得についての講話、実技指導を実施した。エコドライブ講話前後の走行燃費の比較により、エコドライブの効果を実感し、環境にやさしいだけでなく、安全運転にもつながることを学んだ。



市職員による出前講座



気象予報士による出前講座



エコドライブ講習会

【取組み内容等】

毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、市民や事業者の皆さんそれぞれが地球環境に優しい行動を積極的に行う日としています。啓発チラシを配布するほか、横断幕及び懸垂幕の設置、環境カレンダー(ごみ出しカレンダー)へ記載するなどエコライフ DAY の普及を図っています。

2020年8月5日(水)のエコライフDAYには、日本古来の涼み方である「打ち水」を市公共施設で461人(52施設)、かすがいエコオフィスで296人(38事業所)の皆様にご参加いただき、市内各所で行いました。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス



打ち水参加かすがいエコオフィス認定事業所(2020年度)

(50音順)

番号	事業所名	番号	事業所名
1	愛知タイヤ工業株式会社 春日井工場	20	中部電力パワーグリッド株式会社 春日井営業所
2	株式会社ウエダ	21	株式会社中部レキセイ
3	株式会社エージック	22	株式会社ティーティー
4	王子製紙株式会社 春日井工場	23	東春信用金庫 春日井支店
5	株式会社大垣共立銀行 春日井支店	24	東春信用金庫 勝川支店
6	株式会社大垣共立銀行 春日井市役所出張所	25	東春信用金庫 高蔵寺支店
7	株式会社大垣共立銀行 勝川支店	26	東春信用金庫 坂下支店
8	株式会社大垣共立銀行 ニュータウン特別出張所	27	東春信用金庫 六軒屋支店
9	株式会社大垣共立銀行 東野支店	28	東濃信用金庫 小野支店
10	医療法人社団喜峰会 デイサービス喜峰	29	東濃信用金庫 春日井支店
11	医療法人社団喜峰会 東海記念病院	30	東濃信用金庫 勝川支店
12	介護老人保健施設グレイスフル春日井	31	東邦ガス株式会社 春日井営業所
13	社会福祉法人サン・ビジョン グレイスフル浅山	32	東洋電機株式会社
14	株式会社春水園	33	トヨタホーム株式会社 春日井事業所
15	昭和精機株式会社 高蔵寺工場	34	パナソニック エコシステムズ株式会社
16	株式会社ソシオネクスト高蔵寺事業所	35	パナソニックエコシステムズベンテック株式会社
17	大和エネルギー株式会社	36	株式会社ビクター化学工業所
18	中日クラフト株式会社	37	株式会社松浦組
19	中部精機株式会社	38	レンゴー株式会社 新名古屋工場

※かすがいエコオフィス認定事業所の取組みについては35ページをご覧ください。

(3) 地域環境の整備

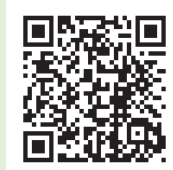
かすがいシティバス事業

具体的取組み番号 9

【取組み内容等】

公共交通空白地域における昼間の時間帯の高齢者の移動手段の確保及び環境負荷の軽減を目的として、4路線（東環状線、西環状線、南部線、北部線）で、かすがいシティバスを運行しています。環境にやさしい交通手段の一つとして、例年 30 万人以上の市民が利用しています。

運賃は、200 円の均一運賃（高齢者等一部割引有）となっています。



QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

かすがいシティバス利用者数

路線	2018 年度	2019 年度	2020 年度
東環状線	206,034 人	208,222 人	157,492 人
西環状線	61,720 人	62,360 人	43,693 人
北部線	18,268 人	19,317 人	13,387 人
南部線	38,130 人	38,482 人	27,983 人
合計	324,152 人	328,381 人	242,555 人



かすがいシティバス

次世代自動車の普及促進

具体的取組み番号 11

【取組み内容等】

市では、ハイブリッド車を1台新規購入するなど、公用車への次世代自動車の導入を進めており、2020 年度末現在で 56 台導入しています。

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により次世代自動車の展示を行うイベントが中止となりましたが、過去には消費生活展で電気自動車・パネルの展示、アースデイ朝宮公園、エコメッセフェスタでは燃料電池車 MIRAI（愛知県協力）の車両の展示をするなど、多くの市民に対して広く普及啓発を行いました。

次世代自動車導入台数
(2020 年度末)

分類	導入台数
電気自動車	3 台
ハイブリッド車	7 台
クリーンディーゼル車	46 台
合計	56 台



電気自動車・パネルの展示
(2018 年度 消費生活展)



燃料電池車の展示
(2019 年度 アースデイ朝宮公園)

第2節 自然を守り自然に親しむ(自然共生社会)

(1) 自然との共存

希少野生動植物種の保護

具体的取組み番号 57

【取組み内容等】

市では、希少な野生動植物を守るために、2012年(平成24年)1月10日、市指定希少野生動植物種8種を指定しました。

○植物：シデコブシ、ササユリ、ヒメカンアオイ

○動物：カヤネズミ、ヨタカ、ナゴヤダルマガエル、ギフチョウ、ヒメタイコウチ

2020年度は、自然環境保全活動推進員が月1回希少種保護の巡回活動を実施しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止となりましたが、これまでに緑と花のフェスティバルやエコワールドなどで自然環境保全や外来種問題等について、周知啓発を行いました。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

パンフレット「守りたい春日井の自然」

第1部 環境基本計画の実施状況

自然環境保全活動推進員

具体的取組み番号 77

【取組み内容等】

自然環境の保全に関する知識の普及や保全活動の推進のため、2020年度は、第7期(2019、2020年度)の推進員29人で活動しました。

この推進員は、自然環境の保全を推進するリーダーとして、次の役割を担います。

- ① 自然環境の保全に関する普及活動の推進
- ② 自然環境の保全に必要な巡回活動
- ③ 自然環境調査等への協力
- ④ 指定希少野生動植物種の保護啓発の巡回活動



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス



ステップアップ講座(竹林の整備)

○2020年度の活動内容

- 1 希少種保護の巡回活動 月1回
- 2 意見調整や情報交換のための連絡会議 年4回
- 3 資質向上のためのステップアップ講座 年4回
- 4、5月「ギフチョウの成体数調査」 10月「地質を学ぶ」
- 2月「キノコを学ぶ」 3月「竹林の整備」

○自然環境保全活動推進員養成講座

第8期(2021、2022年度)の新規推進員を養成するため、春日井市の自然についてなど、全6回の講座を実施し、10名が修了しました。



自然環境保全活動推進員養成講座

【取組み内容等】

持続可能な社会の実現に寄与するため、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議（以下、「PS会議」という。）の市民団体会員により様々な環境保全活動が行われています。



QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

PS会議の市民団体会員による環境保全活動（2020年度）

市民団体名	活動内容
ガールスカウト愛知県第110団	植物などの話を聞きながら弥勒山を登り、自然と触れ合った。下山後は拾い集めた木の葉や木の実を使った工作を実施した。
春日井SDGs推進ネットワーク	国連が15年間（2016-2030年）で達成するために掲げた17の国際目標である『持続可能な開発目標（SDGs）』を推進することを目的に活動した。
かすがい里山自然楽校	潮見坂平和公園内の希少種植物の生息地保全整備や、自然体験、観察会などの環境学習のためのフィールド整備を行った。また、なごや環境大学の認定教育講座や環境学習会を開催した。
春日井里山保存会	ビオトープを設置し、水生生物等の保護・管理など自然環境の保全を行った。さらに、イノシシ侵入防止のための門扉を設置しビオトープの保全を図った。
かすがいシェアリングネイチャーの会	公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会の基本理念に沿って、市内小学校での野外活動やイベントにおいてネイチャーゲームの指導などを行った。
春日井自然友の会	イノシシによる野草園の被害を防ぐため、野草園南側及び西側に鉄製フェンスを設置し、維持管理及び自然保護を実施した他、自然観察会、自然調査を行った。
春日井スカウト団協議会	ボーイスカウト・ガールスカウトで構成され、青少年の健全育成を目標とし、野外活動を通して自然を学び友情協調の精神を育てる事を目的として活動した。
かすがい東部丘陵自然観察会	生き物への関心と生物多様性の大切さなどを学びきっかけづくりとして、アゲハチョウ飼育セットを市内小学校へ無償提供するため、食草（アゲハソウ）の生育管理、増殖を実施した。
環境学習ネットワークグループ	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、小学生への学習支援やサポート活動が出来なかったため、今後の野外学習のためのフィールド整備など、里山の環境整備に重点を置いて活動した。
高蔵寺ニュータウン生き生き楽農会	玉野の遊休地で安心安全な有機野菜づくりや自然環境保全のための清掃活動を行った。
たかくらこどもエコクラブ	高座小学校内にて環境学習と自然遊び、エコ工作、庄内川の水質調査とガサガサ体験など様々な環境学習及び体験を行った。
特定非営利活動法人かすがいネイチャー	高森山にすむニホンリスを調査・保全するため、毎月ニホンリスへの給餌活動や高森山のくみ苗の植樹や周辺の下草刈りを行い、生態状況を把握した。
特定非営利活動法人ザ・希望	障害者・高齢者等とともに、耕運機による畑の浄化やさつまいもの蔓の植え付けを行った。収穫の際は地域の子供も参加し、芋ほりを通じて自然とふれあった。
名古屋工業大学ソーラーカー部	ソーラーカーの開発や製作を通じて、省エネや次世代エネルギー利用の普及・促進に取り組んだ。
みろく山麓の自然を守る会	築水池北岸湿地の保全・観察、散策路の管理を行った。



散策路の保管理
(みろく山麓の自然を守る会)



さつまいもの収穫
(特定非営利活動法人ザ・希望)



潮見坂平和公園での自然体験
(かすがい里山自然楽校)

(2)自然とのふれあい

自然環境学習会

具体的取組み番号 74

【取組み内容等】

自然とふれあう機会の提供と、自然環境の保全に対する理解と関心を深めるため自然環境保全活動推進員が講師となり、自然環境学習会を実施しました。



QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

自然環境学習会(2020年度)

イベント名	開催日	場所	参加者	内容
自然観察会	10月18日(日)	庄内川	27人	庄内川で川の中の生き物を採取観察し、水の汚れなどを調査する自然観察会を実施した。
秋の自然環境学習会	11月15日(日)	潮見坂平和公園	27人	潮見坂平和公園の山林や竹林の中で自然観察を行った。その後、自然素材を使ったリースを作製し、自然と親しんだ。



自然観察会



秋の自然環境学習会

少年自然の家周辺での取組み

具体的取組み番号 75

【取組み内容等】

愛知高原国定公園に指定される優れた自然環境に恵まれた少年自然の家周辺において、地域の自然を活かした様々な自然学習を実施しました。(18 イベントで延べ2,965人参加。)



QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

少年自然の家周辺での自然学習(2020年度)




イベント名	開催日等	参加者	内容
きらめきキャンプ ホテル&カヌー	6月6日(土) 6月7日(日)	30人	家族でテント泊や野外炊事、ナイトハイク、カナディアンカヌー、パンづくりを実施した。
ハチミツしぼり体験	6月20日(土)	20人	ミツバチの観察やハチミツ搾りを実施した。
親子 de ツリークライミング	6月21日(日)	16人	親子でツリークライミングと野外炊事を実施した。
全力!Nスポーツ ×キャンプ	7月11日(土) 7月12日(日)	13人	アウトドアとNスポーツを融合させた最強のキャンプを実施した。
築水池カヌー体験	7月18日(土) 7月19日(日)	25人	カヌーでしか味わえない景色を楽しむとともに水鳥の視点で周辺の森林の観察会を実施した。
自然体験プログラム (夏季・冬季)	夏季7月21日(火) ~8月31日(月) 冬季12月26日(土) 12月27日(日)	156人	夏季 ナイトハイクと天体観測 冬季 餅つき・キャンドルづくり・たき火&焼きいも
野外活動・自然体験 指導者講座	8月29日(土) 9月5日(土) 9月6日(日) 9月27日(日)	54人	・プロジェクト・ワイルドのエducator養成講座 ・自然体験活動の理念、自然の仕組み、自然を知る ・参加者を知る、自然体験活動の基礎、ナイトハイク 他 ・安全対策、普通救命救急 他
全力!虫とり× キャンプ	9月12日(土) 9月13日(日)	26人	虫ざんまいのキャンプを実施した。
万葉の花めぐり	9月3日(木)	13人	万葉集の和歌を楽しみ歌にある植物の観察会を実施した。
地域ミライ防災× キャンプ	10月31日(土) 11月1日(日)	24人	災害時に必要な技術を学ぶキャンプを実施した。
冬のファミリーカ ンプ	12月12日(土) 12月13日(日)	32人	親子で自然観察、リースづくり、もちつき等を実施した。
わくわく自然ランド	年2回実施	58人	身近なフィールドである春日井の東部丘陵の魅力と四季折々の自然に触れるイベントを実施した。
あそびむしくらぶ	年7回実施	141人	2、3歳児とその保護者を対象として、年間を通じて身近な自然環境を体験するイベントを実施した。
自然学校	年4回実施	73人	地域特有の湿地と生物の観察や雑木林の手入れを通して里山の生物多様性とその保護の必要性を学ぶイベントを実施した。
大人の里山歩き	年3回実施	47人	東部丘陵の四季折々の自然を感じながら里山歩きを実施した。
環境教育プログラ ム	随時	347人	プロジェクト・ワイルドのアクティビティで野生生物の生態や行動を通じて、自然環境について学ぶ教育プログラムを実施した。
ネイチャーガイド× トレッキング	随時	199人	小学5年生(野外学習)を対象にガイドと一緒に歩き、四季折々の自然を感じながらトレッキングを実施した。
出張自然講座	随時	1,691人	申込者のニーズにあわせた自然講座を実施した。

第3節 ごみを減らし資源を有効に活用する(資源循環社会)

(1)ごみの減量化と3Rの推進

エコ先案内人				具体的取組み番号 83																																																				
<p>【取組み内容等】</p> <p>ごみの減量やリサイクル、家庭でのエコ生活などについて、親子を対象に環境紙芝居やエコクイズ、エコ工作、エコかるたを通して、楽しく分かりやすく案内する「エコ先案内人」を実施しました。毎月1回、日曜日の午前10時から午後3時まで、クリーンセンターの環境啓発施設エコメッセ春日井において開催し、3月までに延べ177人の参加がありました。</p> <p style="text-align: center;">(2020年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No.</th> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 10%;">参加者</th> <th style="width: 70%;">エコ工作内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月12日(日)</td><td>中止</td><td>アメリカクラッカー</td></tr> <tr><td>2</td><td>5月10日(日)</td><td>中止</td><td>母の日の花束</td></tr> <tr><td>3</td><td>6月14日(日)</td><td>中止</td><td>まつぼっくりのけん玉</td></tr> <tr><td>4</td><td>7月12日(日)</td><td>18人</td><td>タラヨウのエコ宣言</td></tr> <tr><td>5</td><td>8月2日(日)</td><td>7人</td><td>石と貝殻のアート</td></tr> <tr><td>6</td><td>9月13日(日)</td><td>18人</td><td>六角パズル</td></tr> <tr><td>7</td><td>10月11日(日)</td><td>8人</td><td>どんぐりごま</td></tr> <tr><td>8</td><td>11月15日(日)</td><td>25人</td><td>木の実の正月飾り</td></tr> <tr><td>9</td><td>12月13日(日)</td><td>35人</td><td>木の実とかいがらの壁掛</td></tr> <tr><td>10</td><td>1月10日(日)</td><td>27人</td><td>昔遊び</td></tr> <tr><td>11</td><td>2月14日(日)</td><td>中止</td><td>紙皿にのったお雛様</td></tr> <tr><td>12</td><td>3月14日(日)</td><td>39人</td><td>エコかるた</td></tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 45%;">  <p style="font-size: small;">QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  <p>2020.7 私のエコ宣言 エコ先案内人</p> <p>タラヨウのエコ宣言での工作物</p>  <p>どんぐりごま作り</p> </div> </div>					No.	開催日	参加者	エコ工作内容	1	4月12日(日)	中止	アメリカクラッカー	2	5月10日(日)	中止	母の日の花束	3	6月14日(日)	中止	まつぼっくりのけん玉	4	7月12日(日)	18人	タラヨウのエコ宣言	5	8月2日(日)	7人	石と貝殻のアート	6	9月13日(日)	18人	六角パズル	7	10月11日(日)	8人	どんぐりごま	8	11月15日(日)	25人	木の実の正月飾り	9	12月13日(日)	35人	木の実とかいがらの壁掛	10	1月10日(日)	27人	昔遊び	11	2月14日(日)	中止	紙皿にのったお雛様	12	3月14日(日)	39人	エコかるた
No.	開催日	参加者	エコ工作内容																																																					
1	4月12日(日)	中止	アメリカクラッカー																																																					
2	5月10日(日)	中止	母の日の花束																																																					
3	6月14日(日)	中止	まつぼっくりのけん玉																																																					
4	7月12日(日)	18人	タラヨウのエコ宣言																																																					
5	8月2日(日)	7人	石と貝殻のアート																																																					
6	9月13日(日)	18人	六角パズル																																																					
7	10月11日(日)	8人	どんぐりごま																																																					
8	11月15日(日)	25人	木の実の正月飾り																																																					
9	12月13日(日)	35人	木の実とかいがらの壁掛																																																					
10	1月10日(日)	27人	昔遊び																																																					
11	2月14日(日)	中止	紙皿にのったお雛様																																																					
12	3月14日(日)	39人	エコかるた																																																					

第1部
環境基本計画の実施状況

環境美化・ごみ減量啓発推進事業		具体的取組み番号 87
<p>【取組み内容等】</p> <p>家庭からのCO₂排出量が分かる「環境家計簿」と「資源・ごみ出しカレンダー」を組み合わせた「環境カレンダー」と、資源・ごみの出し方を詳しく掲載した「資源・ごみの出し便利帳」を作成し、広く市民に配付することにより、資源分別、ごみの減量や省エネが地球温暖化防止につながる取組みであることを啓発しました。また、2018年(平成30年)3月に導入したごみ収集日や分別方法の検索機能などを有するスマートフォン用ごみ分別アプリ「さんあ〜る」のインフォメーション機能を活用し、旬な情報の提供に努めました。さらに、2019年3月に改定した春日井市ごみ処理基本計画に定めた計画目標を達成するため、ごみの排出抑制に繋がる各種施策を実施しました。</p>		
 <p style="text-align: center;">環境カレンダー</p>  <p style="text-align: center;">ごみ分別アプリ「さんあ〜る」</p>	 <p style="font-size: small;">QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス</p>	

(2)ごみの資源化の推進

資源分別収集

具体的取組み番号 98

【取組み内容等】

市内の約 7,350 か所に設置されたごみステーションで、家庭から出た飲料缶・ガラスびん・ペットボトル・新聞紙・雑誌・段ボール・古着・牛乳パックを 2002 年 10 月から、プラスチック製容器包装や金属類を 2013 年 4 月から資源として分別収集しています。

収集にあたっては、ごみ・資源の分別の徹底と排出マナーの向上を目的に、2007 年(平成 19 年)2 月から指定袋制度を導入しています。

資源は、ごみステーションでの収集をはじめ、子ども会や学校などの資源回収団体の活動による回収や、クリーンセンターでの処理によるもの等があり、新聞、雑誌など 11 種類の資源の分別をしています。

2019 年 10 月から蛍光灯の拠点回収を開始した 4 施設に加え 2020 年 10 月から、坂下公民館、東部市民センター、総合福祉センター及び清掃事業所を加えた 8 施設で行っており、2020 年度は 812 本回収しました。なお、2020 年 11 月から愛知県電機商業組合春日井支部加盟の一部協力店舗でも回収を始めています。



QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

資源回収状況

	2018 年度		2019 年度		2020 年度	
	市収集	資源回収団体	市収集	資源回収団体	市収集	資源回収団体
新聞	1,865.32 t	1,267.08 t	1,466.71 t	1,113.66 t	1,426.25 t	369.62 t
雑誌 (雑誌のみを含む)	1,877.97 t	519.54 t	1,591.70 t	451.48 t	1,712.94 t	189.52 t
段ボール	1,477.44 t	295.35 t	1,303.35 t	263.58 t	1,457.45 t	135.33 t
古着	480.81 t	62.49 t	455.54 t	58.62 t	573.52 t	16.61 t
牛乳パック	40.37 t	18.42 t	37.09 t	18.75 t	45.01 t	8.65 t
飲料缶	259.96 t	36.88 t (アルミ缶)	267.40 t	36.18 t (アルミ缶)	311.00 t	24.62 t (アルミ缶)
ガラスびん	1,593.10 t	0 t	1,556.91 t	0 t	1,600.65 t	0 t
ペットボトル	785.75 t	—	799.77 t	—	827.25 t	—
天ぷら油	11.67 t	—	11.39 t	—	12.26 t	—
プラスチック製 容器包装	2,607.94 t	—	2,761.27 t	—	2,816.92 t	—
金属類 (小型家電を含む)	664.95 t	—	937.95 t	—	1,120.85 t	—
合計	11,665.28 t	2,199.76 t	11,189.08 t	1,942.27 t	11,904.10 t	744.35 t

焼却灰の活用

具体的取組み番号 101

【取組み内容等】

ごみ処理施設(クリーンセンター)では、ごみを燃やしてできる焼却灰をセメント工場に送り、セメント原料として有効活用に努めました。

焼却灰等の有効活用

種類	2018 年度	2019 年度	2020 年度
セメント原料	2,996.73 t	2,994.52 t	2,999.29 t



セメント工場



セメント

第4節 市民と事業者、行政が協働して環境まちづくりを進める(連携・協働)

(1)環境市民の育成

市民環境アカデミー

具体的取組み番号 181

【取組み内容等】

環境について幅広い知識を有し、環境への取組みを実践できるリーダー的な役割を担う人材を育成するため、資源循環、生物多様性、海洋汚染など幅広く環境について、講義やワークショップなどを通じて学べる連続講座を2016年度(平成28年度)より開催し、全6回中5回以上出席した方へ修了証を交付しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となりましたが、過去4年間の市民環境アカデミーでは、合計24講座を実施し、128の方が修了されました。



QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

市民環境アカデミー開催実績

年度	No	講座名	修了者
2016	1	「いなしの智慧」～日本人と自然～	32人
	2	「築水池周辺フィールドワーク」～自然環境の保全活動について学ぶ～	
	3	「地球を取り巻く環境問題」～デジタルアースによる見える化～	
	4	「省エネ・節電セミナー」～はじめよう！地球と家計にやさしい取組み～ 「春日井のリサイクルの現状」	
	5	「自然とともに暮らすまち「春日井」に！」～みんなでワークショップ～	
	6	「地球温暖化に地域から取り組む」	
2017	1	「現在の環境問題について考える」～持続可能な発展の社会を目指して～	30人
	2	「自然環境の保全活動を体験」～潮見坂平和公園での里山整備～	
	3	「持続可能な社会づくりのための人づくり」～ESD(持続可能な開発のための教育)について～ 「未来のために、いま選ぼう。COOL CHOICE I」～家庭でできる地球温暖化対策～	
	4	「都市の生物多様性」～生物多様性向上のための都市緑化～	
	5	「未来のために、いま選ぼう。COOL CHOICE II」～地球温暖化に地域から取り組む～	
	6	「環境活動の実践方法」～これまで学んだことを活かし、行動しよう～	
2018	1	北極・南極から見た気候変動・地球温暖化	32人
	2	チョウ類のモニタリング調査体験と自然観察	
	3	碧南火力発電所見学エコツアー	
	4	サボテンが地球を救う！？	
	5	淡水域の生物多様性を守るためには？	
	6	私たちのための、私たちによる環境まちづくり～学びを行動に～	
2019	1	太陽と惑星と生命と	34人
	2	パソコンの分解からリサイクルを学ぶ～レアメタルを探そう～	
	3	空気・水の環境事業を創造する春日井工場エコツアー	
	4	発光生物が照らす環世界	
	5	伊勢湾のマイクロプラスチック汚染の現状	
	6	私たちのための、私たちによる環境まちづくり～学びを行動に～	



2016年度 第5回 みんなでワークショップ 2017年度 第2回 潮見坂平和公園での里山整備 2018年度 第3回 火力発電所見学エコツアー

青空教室

具体的取組み番号 184

【取組み内容等】

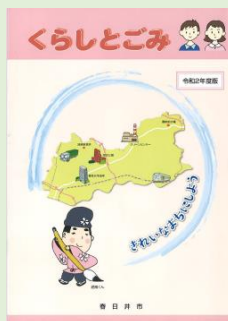
ごみの減量と分別意識を培うため、小学校教師による社会科研究会と協働で作成した、社会科副読本「くらしとごみ」を市立小学校全校(37校)の4年生に配付しました。

また、市職員がごみ処理の状況、ごみの減量、リサイクルの必要性などを説明するとともに、ごみ収集車にごみを積み込む体験をしてもらう「青空教室」を、小学4年生の社会科総合学習として実施しました。

さらに、園児のごみに対する興味関心を高め、子どもを通して家庭にごみの分別等を周知するため、保育園等においても「青空教室」を実施しました。

青空教室(2020年度)

	施設数	人数
小学校	34校	2,782人
公・私立保育園 私立幼稚園	15園	860人



副読本「くらしとごみ」



青空教室(東野小学校)

出前講座

具体的取組み番号 185

【取組み内容等】

地球温暖化防止の取組みを行うきっかけづくりを目的として、地球温暖化の最新情報やその対策について、NPO法人気象キャスターネットワークの協力のもと、気象予報士を講師に招き、市内小学校で出前講座を開催しました。

また、環境省の「地球温暖化防止コミュニケーター養成講座」を修了した市職員(延べ8名)による出前講座を市内小学校や放課後なかよし教室、サマースクールで開催しました。「2100年未来の天気予報」の動画や模型を使った実験を通じて地球温暖化について学び、自分たちにできることを考えました。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

出前講座(2020年度)

	開催日	場所	参加者	講師
市職員 出前講座	8月7日(金)～ 12月18日(金) 計10回	大手小学校他	198人	市職員
気象予報士 出前講座	12月3日(木) 1月15日(金) 計2回	高森台小学校 春日井小学校	168人	NPO法人気象キャスターネットワーク・気象予報士 竹下 愛実、虫鹿 里佳



気象予報士による出前講座



市職員による出前講座

【取組み内容等】

子ども(小学4～6年生)とその保護者を対象に、見学や体験を交え楽しみながら家族ぐるみで環境について学び、考えるきっかけづくりとするため全5回の連続講座を2018年度より実施しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となりましたが、過去2年間では、40組85名の方が受講し、環境への取組みを率先して実施するエコファミリーの育成を図ることができました。



QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

子ども環境アカデミー開催実績

年度	No	講座名	受講者
2018	1	「夏休み親子工作教室」～資源を活かして壁掛け時計を作ろう～	20組 41名
	2	「川越火力発電所見学エコツアー」～電気の生まれる瞬間を見に行こう～	
	3	「ごみ処理の最前線」～身近な衛生環境について考えよう～	
	4	「秋の自然環境学習会」～春日井の自然と触れ合おう～	
	5	「お天気お姉さんと学ぶ地球温暖化」～未来の天気と私たちにできること～	
2019	1	リサイクルって大切なんだ！～家電製品の解体現場を見てみよう～	20組 44名
	2	ビンってどうやって生まれ変わるの？～ガラスでキーホルダーを作ろう～	
	3	川越火力発電所見学エコツアー～電気の生まれる瞬間を見に行こう～	
	4	秋の自然環境学習会～春日井の自然と触れ合おう～	
	5	サポテン博士と学ぶ環境生態学～市の特産品「サポテン」について学ぼう～	



2018年度 第1回
親子工作教室



2018年度 第2回
火力発電所見学エコツアー



2018年度 第4回
秋の自然環境学習会



2019年 第2回
ガラスでキーホルダーを作ろう



2019年 第3回
火力発電所見学エコツアー



2019年 第5回
市の特産品「サポテン」について学ぼう

【取組み内容等】

春日井まつりにおいて、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議を始めとする市民団体、事業者、市等が協働でブースを出展し、環境に関する啓発を行う「エコワールド」を開催しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となりましたが、これまで多くの方々にご参加いただきました。

エコワールド開催実績(直近3回)

年度	出展団体数	延べ参加人数
2016	14 団体	22,176 人
2018	15 団体	23,636 人
2019	14 団体	18,097 人



エコワールド

※2017年度は雨天により中止

エコワールド出展団体等(直近3回)

1	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議	10	株式会社トヨタレンタリース名古屋
2	春日井スカウト団協議会	11	王子製紙株式会社 春日井工場
3	かすがいシェアリングネイチャーの会	12	浜田化学株式会社
4	サービス・トゥー・ネイチャー・春日井	13	株式会社 LIXIL
5	中部大学 ESD エコマネーチーム	14	多治見市環境課
6	愛知工業大学総合工学研究会	15	春日井市環境政策課
7	中部大学発光生物学研究室	16	春日井市環境保全課・環境分析センター
8	名古屋工業大学ソーラーカー部	17	春日井市ごみ減量推進課
9	パナソニック エコシステムズ株式会社	18	春日井市清掃事業所



木の実などを使った工作
(サービス・トゥー・ネイチャー・春日井)



ミニソーラーカーレース
(名古屋工業大学ソーラーカー部)



EV カーレース
(愛知工業大学総合工学研究会)



ペーパークラフト&手作り風車
(パナソニック エコシステムズ株式会社)

環境絵画コンクール

具体的取組み番号 185

【取組み内容等】

子どもたちの環境保全意識を高めるために、パナソニック エコシステムズ株式会社が主催する「環境絵画コンクール」に、2019年度から「春日井市長賞」を創設し、受賞作品をごみ収集車にラッピングしました。

春日井市長賞の表彰式を市役所1階の市民ホールにて行いました。また、ラッピングしたごみ収集車を小学校の青空教室で使用し、子どもたちへの環境保全の啓発にも活用しています。



QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス



春日井市長賞の表彰



ラッピングしたごみ収集車との記念撮影

第1部

環境基本計画の実施状況

ささえ愛センターでの活動・交流

具体的取組み番号 187

【取組み内容等】

市民活動支援センター(ささえ愛センター)では、市民活動団体やボランティアグループなど、市民が自主的・自発的に行っている公益的な活動を支援するとともに、市民との協働によるまちづくりを推進することを目的として、市民活動に関する相談、情報の発信などを行っています。

2020年度は、199団体が登録しており、市民活動を行う人材の育成や団体の支援のため、5回(延べ24回)のイベント・講座を行いました。



QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス



オトナのボランティアスクール

エコメッセフェスタ

具体的取組み番号 214

【取組み内容等】

環境やリサイクルに関する展示及び来場者が参加できる催しを通して、環境や3R(Reduce、Reuse、Recycle)を啓発するとともに、啓発施設としてのエコメッセ春日井をアピールするため、エコメッセ春日井において、クリーンセンターバックヤードツアーやごみ分別クイズ、フリーマーケット、エコ料理教室等の体験学習を毎年開催しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となりました。



QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

過去3年間の来場者数

	来場者数
2017年度	3,230人
2018年度	3,918人
2019年度	4,610人



エコメッセ春日井でのフリーマーケット

(2) 市民協働の推進

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議

具体的取組み番号 195

【取組み内容等】

市民、事業者、市の三者協働による環境まちづくりを推進する組織として、2002年12月に「かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議(以下、「PS会議」という。)」が設立され、2020年度末の会員数は市民30人・市民団体15団体・事業者6社となっています。

PS会議は、市の環境に関するイベントに参加・共催するとともに、市民や市民団体の連携の輪を広げるため、様々な自主イベントを実施しました。



QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

PS会議の自主イベント(2020年度)

イベント名	開催日	場所	参加者	内容
水生生物調査と水質調査	6月7日(日)	庄内川右岸河川敷(高蔵寺運動広場)	6人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主催のたかくらこどもエコクラブのスタッフ等6人で実施した。水生生物調査では、トビケラ類やヨシノボリの稚魚などを見つけ、水質調査の結果、庄内川を流れる水の透明度は98と、とてもきれいなことがわかった。
林間学校「竹で水鉄砲を作ってみよう！」	8月2日(日)	潮見坂平和公園	27人	PS会員である里山自然楽校の協力のもと竹の水鉄砲づくりと自然観察を行った。ため池の前ではホタルの話聞き、竹林では種類や成長の過程を自分の目で確認して、自然観察を楽しんだ。その後竹を使った水鉄砲を作製した。試し打ちをしながら調整を繰り返し、上手に作り上げた。
藤前干潟清掃活動	10月31日(土)	新川・庄内川河口付近	2人	第33回を迎えた藤前干潟クリーン大作戦では、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、例年実施するバスツアーは取りやめ、事務局員のみで清掃活動に参加した。堤防に流れ着いたペットボトルや空き缶、プラスチック容器などのごみを手作業で取り除いた。山積みになったたくさんのごみを見て、庄内川上流域に住む私たちの行動を考えるきっかけとなった。
水質調査「庄内川ってきれいなの？」	11月14日(土)	庄内川右岸河川敷(高蔵寺運動広場)	27人	透視度計と水質検査キットを利用して水質調査を行った。「川の生き物下敷き」を使い、生息する生物の違いから水のきれいさがわかることを学んだ。水質調査の後は、木の枝を使った工作を行い、自由に色を塗ったり、動く目玉をつけたりして個性的な作品を作製した。



林間学校



水質調査